

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初	事 項	里山里海体験型観光推進事業費								予算主管課		農政課				
	事 業 概 要	農山漁村における「滞在」「体験」に関する資源の発掘・磨き上げや情報発信等を行うことで、地域外から多くの観光客を呼び込み、県内の里山里海の活性化を図る。								始期		2020				
										終期		2026				
	K P I	体験メニュー利用者数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	14 万人		目標値	15 万人		目標値	16 万人		目標値	17 万人		
		実績値	13.1 万人		実績値	12.3 万人		実績値	12.4 万人		実績値	17.9 万人		実績値	万人	
		ストック /フロー	フロー		達成率	87.9 %		達成率	82.7 %		達成率	111.9 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	5425 千円		最終現計 予算額	4347 千円		最終現計 予算額	千円	
					決算額	千円		決算額	4686 千円		決算額	3960 千円		決算額	千円	
											繰越額	千円		繰越額	千円	
							不用額	387 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因														
		総括														
	見直し方向性	維持	関係人口の増加は、農山漁村の活性化や地域経済の持続に向けた重要な要素であり、農泊等を通じた都市と農村の交流促進は、その有効な手段の一つと考えられる。また、山村振興法においても関係人口や二地域居住の促進が位置づけられており、こうした政策の方向性とも整合することから、本事業についても引き続きその趣旨や効果を踏まえながら、適切に取り組むことが望ましいと考える。													

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,2 月補正	事 項	中山間地域等直接支払交付金事業費										予算主管課		農地整備課	
	事 業 概 要	中山間地域等における農業生産条件の不利性を補正するため、直接支払により支援を行 う。										始期		2000	
												終期			
	K P I	中山間地域等直接支払交付金活用による生産・保全面積													
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度				
		R 4 年 度		目標値	11600 ha		目標値	11600 ha		目標値	11600 ha				
		実績値	ha		実績値	10664 ha		実績値	10622 ha		実績値	9574 ha			
		実績値	ha		実績値	10622 ha		実績値	9574 ha		実績値	ha			
		ストック /フロー	フロー		達成率	91.93 %		達成率	91.6 %		達成率	82.5 %			
		達成率	%		達成率	%		達成率	%		達成率	%			
	コ ス ト	最終現計 予算額	1143753 千円		最終現計 予算額	1135620 千円		最終現計 予算額	1073225 千円		最終現計 予算額	千円			
		決算額	1141774 千円		決算額	1133311 千円		決算額	1071612 千円		決算額	千円			
						繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	1613 千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析	要因 令和7年度から第6期対策が開始されたが、高齢化等を理由に活動を断念する協定が多かったため、未達成となった。													
		総括													
	見直し方向性	維持	第6期対策から設定された「ネットワーク化加算」や「スマート農業加算」を有効に活用し、多様な人材と の連携や協定間での活動連携促進、維持管理活動の省力化等、活動の継続・拡大に向けた啓発を行い、成果 の向上につなげる。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	ふるさと・水と土ふれあい事業費								予算主管課	農地整備課
	事 業 概 要	中山間ふるさと保全対策基金の運用益等により、住民活動を推進する人材の育成や保全活動等の促進に向けた支援を行う。								始期	1993
										終期	2026
	K P I	ふるさと保全計画策定割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	4 %	目標値	6 %	目標値	8 %	目標値	10 %
		実績値	%	実績値	4 %	実績値	6 %	実績値	8 %	実績値	%
		ストック /フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	35000 千円	最終現計 予算額	53000 千円	最終現計 予算額	48000 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	30435 千円	決算額	46869 千円	決算額	31349 千円	決算額	千円
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	16651 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定通りの成果が出ており、現状のニーズを踏まえると、8年度以降もKPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初,2 月補正	事 項	農村環境保全向上活動支援事業費							予算主管課		農地整備課			
	事 業 概 要	農村地域の多面的機能の維持を図るため、農業者等による活動組織が行う農村の多面的機能の発揮や環境保全型農業への転換を図る活動の支援を行う。							始期		2007			
									終期					
	K P I	多面的機能支払交付金活用により保全されている面積												
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	16800 ha		目標値	16800 ha		目標値	16800 ha			
		実績値	ha	実績値	14800 ha		実績値	14543 ha		実績値	14487 ha			
		ストック /フロー	フロー	達成率	88.1 %		達成率	86.6 %		達成率	86.2 %			
		コ ス ト	最終現計 予算額	705431 千円		最終現計 予算額	704112 千円		最終現計 予算額	711391 千円		最終現計 予算額	千円	
	決算額		700410 千円		決算額	699405 千円		決算額	706750 千円		決算額	千円		
								繰越額	千円		繰越額	千円		
								不用額	4641 千円		不用額	千円		

7 年 度	要因分析	要因 新規活動組織があったものの、5年間の活動期間を迎えた組織が農業者の高齢化や減少等により、活動を断念する組織が多かったため、目標面積は未達成となった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	8年度も同様の状況が見込まれるが、活動継続に向けて、組織間の連携や多様な団体の参画等、各組織の実態に応じた連携活動を進めるとともに、農地維持活動の省力化に向けた支援を行い、成果の向上につなげる。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	農業集落排水事業費							予算主管課	農地整備課	
	事 業 概 要	老朽化した農業集落排水施設の機能診断や既存施設の改修等に対し支援を行う。							始期	1983	
									終期	2026	
	K P I	農業集落排水維持管理適正化計画策定完了率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	14 %	目標値	26 %	目標値	49 %	目標値	58 %
		実績値	%	実績値	14 %	実績値	26 %	実績値	51 %	実績値	%
		ストック /フロー	ストック	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	104.1 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	15125 千円	最終現計 予算額	39000 千円	最終現計 予算額	53625 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	11246 千円	決算額	38000 千円	決算額	53625 千円	決算額	千円
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析		要因							
			総括							
	見直し方向性		維持	7年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、8年度以降も関係市町の要望状況や事業の進捗を踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	えひめ森林公園魅力発信事業費						予算主管課	森林整備課		
	事 業 概 要	えひめ森林公園の来園者数を増やし、森とのふれあいを促進するため、令和6年度のリニューアルや有料化、第76回全国植樹祭の開催を契機に、連携体験イベント等を実施し、とべもり+（プラス）への誘客促進と全国植樹祭の機運醸成を図る。						始期	2024		
								終期	2026		
	K P I	えひめ森林公園の年間来園者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	120000 人	目標値	130000 人	目標値	140000 人	目標値	150000 人
		実績値	73719 人	実績値	87311 人	実績値	100777 人	実績値	110103 人	実績値	人
		ストック /フロー	フロー	達成率	72.8 %	達成率	77.5 %	達成率	78.6 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計	73427 千円	最終現計	27669 千円	最終現計	11794 千円	最終現計	千円	
			予算額		予算額		予算額		予算額		
			決算額	72322 千円	決算額	26136 千円	決算額	11379 千円	決算額	千円	
							繰越額	千円	繰越額	千円	
				不用額	415 千円	不用額	千円				

7 年 度	要因分析		要因 とべもり+スタンプラリー等を実施したことで、当時期は前年度比107%となったが、猛暑等の影響で夏季に前年度比109%と伸び悩んだため未達成となった。							
			総括							
	見直し方向性		改善	えひめ森林公園のリニューアルやとべもり+での連携PRにより、新型コロナウイルスの影響前の状況に来園者数が回復するとともに、令和7年度予算で効果的にイベント実施と情報発信を行った結果、平成27年度以来11万人を突破した。一方、目標には届いていないため、令和8年度の執行方法の見直しや令和9年度当初の事業内容の拡充等を検討する。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	県民と森との交流促進事業費								予算主管課	森林整備課
	事 業 概 要	森林と共生する文化の創造を目的として、森とふれあうフィールド整備等の場づくり、 森林林業教室等による人づくりを推進し、県民参加型の活動を促進する。								始期	2005
										終期	2029
	K P I	森林環境税による森林関係事業の県民参加人数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	15000 人	目標値	15000 人	目標値	15000 人	目標値	15000 人
		実績値	14269 人	実績値	14183 人	実績値	13276 人	実績値	12622 人	実績値	人
		ストック /フロー	フロー	達成率	94.55 %	達成率	88.5 %	達成率	84.1 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	21738 千円	最終現計 予算額	18550 千円	最終現計 予算額	23552 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	19403 千円	決算額	17256 千円	決算額	20391 千円	決算額	千円
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	3161 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析		要因 少年自然愛護活動事業の参加人数は昨年より増加したが、少子化の影響等により年々緑の少年団員数が減少しており、目標は未達成となった。						
			総括						
	見直し方向性	改善	令和7年度のKPIの実績は目標を下回ったことから、目標達成のため全国植樹祭を契機とした森林ボランティアや第5期森林環境税において森林への理解促進がより一層図れるよう、令和9年度当初の事業内容の見直しを検討する。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	県民参加の森林づくり公募事業費							予算主管課		森林整備課			
	事 業 概 要	森林環境税の目指す「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体 となって推進するため、県民の豊かな発想による自発的な活動に対して補助する。							始期		2005			
									終期		2029			
	K P I	森林づくりの公募事業への参加者数												
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
		R 4 年 度		目標値	15000 人		目標値	15000 人		目標値	15000 人			
		実績値	9924 人		実績値	6304 人		実績値	8359 人		実績値	8805 人		
		実績値	9924 人		実績値	6304 人		実績値	8359 人		実績値	8805 人		
		実績値	9924 人		実績値	6304 人		実績値	8359 人		実績値	8805 人		
	ストック /フロー	フロー		達成率	42.03 %		達成率	55.7 %		達成率	58.7 %			
コ ス ト			最終現計	15000 千円		最終現計	13500 千円		最終現計	15000 千円		最終現計	千円	
			予算額	15000 千円		予算額	13500 千円		予算額	15000 千円		予算額	千円	
			決算額	12067 千円		決算額	12193 千円		決算額	14217 千円		決算額	千円	
			決算額	12067 千円		決算額	12193 千円		決算額	14217 千円		決算額	千円	

7 年 度	要因分析		要因 公募事業は、県民自らが企画、立案、実行する活動への支援のため、各団体等の活動内容によって参加人数が大きく左右される状況があり、令和7年度は、活動への一般参加を働きかけ、前年度より向上したものの、未達成となった。						
			総括						
	見直し方向性	改善	令和7年度のKPI実績は目標を下回ったが、新規応募も増えていることから、令和8年度は全国植樹祭を契機としたニーズが高まることが想定されることから、令和8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。						

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	新たな森林管理システム推進事業費								予算主管課	森林整備課
	事 業 概 要	森林資源の適正な管理を推進するため、新たな森林管理システムの普及・指導等を行う。								始期	2019
										終期	
	K P I	市町または所有者等により適正管理されている民有林（人工林）割合									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	24 %	目標値	25 %	目標値	26 %	目標値	27 %
		実績値	23 %	実績値	20 %	実績値	27 %	実績値	27 %	実績値	%
		ストック /フロー	ストック	達成率	83.33 %	達成率	108 %	達成率	103.8 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	47043 千円	最終現計 予算額	48000 千円	最終現計 予算額	51600 千円	最終現計 予算額	千円
				決算額	40879 千円	決算額	42655 千円	決算額	49911 千円	決算額	千円
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	1689 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	8年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初

事 項	全国植樹祭開催準備費							予算主管課	全国植樹祭推進課	
事 業 概 要	令和8年春の開催に向け、大会運営や会場整備等の準備を進め、広報活動や記念イベント等の実施により機運醸成を図るとともに、行幸啓を賜ることを想定し、関係機関との協議や調査を行うほか、大会前日に開催される全国林業後継者大会の準備を行う。							始期	2022	
								終期	2026	
K P I	森とふれあう活動に参加した人数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
	R 4 年 度		目標値	51000 人	目標値	52000 人	目標値	53000 人	目標値	57000 人
	実績値	49874 人	実績値	44224 人	実績値	56073 人	実績値	71516 人	実績値	人
	ストック /フロー	フロー	達成率	86.7 %	達成率	107.8 %	達成率	134.9 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	15194 千円	最終現計 予算額	65080 千円	最終現計 予算額	268127 千円	最終現計 予算額	千円
決算額			15128 千円	決算額	64085 千円	決算額	267258 千円	決算額	千円	
				繰越額	千円	繰越額	千円			
				不用額	869 千円	不用額	千円			

7 年 度	要因分析	要因								
		総括								
	見直し方向性	維持	7年度の機運醸成の取組等によりKPI実績は目標達成しており、8年5月の全国植樹祭開催に向け、8年度の執行方法の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

11

当初

事 項	木質バイオマス利用促進事業費								予算主管課		林業政策課				
事 業 概 要	木質バイオマスの利用促進のため、林地残材等の搬出経費等に対する補助を行うとともに、エネルギー利用の普及促進を図る。								始期		2006				
									終期						
K P I	発電向けバイオマス供給量														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	24 千t		目標値	24 千t		目標値	41 千t		目標値	41 千t		
	実績値	20 千t		実績値	36 千t		実績値	27 千t		実績値	17 千t		実績値	千t	
	ストック /フロー	ストック		達成率	150 %		達成率	112.5 %		達成率	41.5 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	24730 千円		最終現計 予算額	24730 千円		最終現計 予算額	17730 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	23898 千円		決算額	17900 千円		決算額	10075 千円		決算額	千円	
						繰越額	千円		繰越額	千円					
						不用額	7655 千円		不用額	千円					

7 年 度	要因分析	要因 バイオマス用の原木価格の上昇により、事業対象となる原木数量が減少したことから、目標が達成できなかった。									
		総括									
見直し方向性	大幅見直し（事業組替等）	7年度の目標達成率が想定よりも低調であったことに加え、バイオマス用の原木価格が上昇している現状を踏まえると、8年度も同様の状況が見込まれるため、価格の動向を注視したうえで、9年度において事業対象や手法も含めて大幅な見直しを検討する。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

12	当初	事 項	森林カーボンオフセット促進事業費								予算主管課	林業政策課
	事 業 概 要	カーボンオフセット・クレジットを民間に売り込む機会を創出するとともに、本県からの森林由来によるクレジット発行を促し、排出権取引を活性化させることでカーボンオフセットを促進する。								始期	2023	
										終期		
	K P I	県内で発行された森林クレジット年間販売量										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	70 t-co2	目標値	250 t-co2	目標値	300 t-co2	目標値	300 t-co2	
		実績値	168 t-co2	実績値	232 t-co2	実績値	398 t-co2	実績値	865 t-co2	実績値	t-co2	
		ストック /フロー	フロー	達成率	331 %	達成率	159 %	達成率	288 %	達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	3081 千円	最終現計 予算額	2772 千円	最終現計 予算額	2772 千円	最終現計 予算額	千円	
	決算額			2330 千円	決算額	1804 千円	決算額	2174 千円	決算額	千円		
					繰越額	千円	繰越額	千円				
					不用額	598 千円	不用額	千円				

7 年 度	要因分析	要因									
		総括									
見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標値を達成しており、現状のニーズを踏まえると、事業実施はKPIの向上に寄与するものであることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

13

当初,6 月補 正,12 月補正	事 項	造林事業費								予算主管課	森林整備課
	事 業 概 要	森林が持つ多面的機能を発揮させるため、森林の適正な管理に寄与する森林施業等に対し支援を行う。								始期	1946
										終期	
	K P I	森林整備実施面積（当該年度）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	4098 ha	目標値	3450 ha	目標値	3497 ha	目標値	2151 ha
		実績値	1640.23 ha	実績値	1505 ha	実績値	1989 ha	実績値	2075 ha	実績値	ha
		ストック /フロー	フロー	達成率	36.7 %	達成率	57.7 %	達成率	59.3 %	達成率	%
		コ ス ト		最終現計 予算額	989508 千円	最終現計 予算額	1456906 千円	最終現計 予算額	2359059 千円	最終現計 予算額	千円
	決算額			986757 千円	決算額	1451832 千円	決算額	1504421 千円	決算額	千円	
					繰越額	852809 千円	繰越額	千円			
					不用額				1829 千円	不用額	千円
7 年 度	要因分析	要因 令和7年度の国補正予算に対応し、12月補正で事業に取り組んだが、森林整備の着手にあたって必要となる森林境界の確定など日数を要したことから、大半を次年度に繰り越すことになった。									
		総括									
	見直し方向性	改善	細施策KGIとの相関は高いと考えるが、7年度は繰越が多く、年度目標達成率が低調であったことから、8年度の執行から本庁・出先機関・事業主体間でこまめに進捗状況を管理することで、事業実績を向上させる。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

14

当初,12月補正	事 項	花粉の少ない森づくり事業費								予算主管課		森林整備課				
	事 業 概 要	花粉の少ない森づくりを推進するため、花粉発生源であるスギ人工林等の伐採や植替え等に対し支援を行う。								始期		2023				
										終期						
	K P I	スギ人工林等の植替え面積														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	80 ha		目標値	80 ha		目標値	80 ha		目標値	85 ha		
		実績値	65 ha		実績値	0 ha		実績値	62 ha		実績値	84.62 ha		実績値	ha	
		ストック /フロー	フロー		達成率	0 %		達成率	77.5 %		達成率	105.8 %		達成率	%	
		コ ス ト			最終現計 予算額	65742 千円		最終現計 予算額	174836 千円		最終現計 予算額	235580 千円		最終現計 予算額	千円	
	決算額				0 千円		決算額	146581 千円		決算額	205791 千円		決算額	千円		
							繰越額	29789 千円		繰越額	千円					
							不用額	千円		不用額	千円					
7 年 度	要因分析		要因													
			総括													
	見直し方向性		維持		8年度事業の要望は予算額を若干下回っていることが懸念点だが、予算が満額充当された7年度に目標を達成していることを踏まえると8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

15

当初

事 項	優良種苗確保事業費										予算主管課	森林整備課	
事 業 概 要	林木の品種改良、種子採取源の整備等による優良種苗の供給を確保するとともに、低コスト造林に資するコンテナ苗やエリートツリー等の利用拡大を図る。										始期	1967	
											終期		
K P I	球果採取量												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	400 リットル		目標値	400 リットル		目標値	1100 リットル			
	実績値	315 リットル		実績値	1197 リットル		実績値	1145 リットル		実績値	597 リットル		
	ストック /フロー	フロー		達成率	299.25 %		達成率	286.3 %		達成率	54.3 %		
	コ ス ト			最終現計 予算額	40070 千円		最終現計 予算額	36842 千円		最終現計 予算額	43602 千円		
				決算額	39639 千円		決算額	32985 千円		決算額	43007 千円		
								繰越額	千円		繰越額	千円	
								不用額	595 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因 スギの球果が凶作であったことから、全体の球果採取量が不調となった。											
		総括											
	見直し方向性	維持	7年度のKPI実績は目標値を下回る成果となったが、採取源の適切な育成管理を通して、球果採取量の維持を図る。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

16

当初

事 項	森林病虫獣害対策事業費										予算主管課	森林整備課			
事 業 概 要	県木である松を守るため、重要な松林を対象に松くい虫防除を実施するほか、二ホンジカ及びナラ枯れによる森林被害対策を行う。										始期	1973			
											終期				
K P I	松くい虫の森林被害面積														
	KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	1169 ha		目標値	698 ha		目標値	450 ha		目標値	449 ha		
	実績値	ha		実績値	450 ha		実績値	449 ha		実績値	446 ha		実績値	ha	
	ストック /フロー	フロー		達成率	259.8 %		達成率	155.5 %		達成率	100.9 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	17808 千円		最終現計 予算額	10986 千円		最終現計 予算額	12507 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	13221 千円		決算額	9553 千円		決算額	11127 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
										不用額	1380 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析	要因													
		総括													
	見直し方向性	維持	令和7年度のKPI実績は防除による被害抑制により前年度を下回る成果が出ており、令和8年度以降も現状の二ーズを踏まえると、KPIは目標達成できると考えられることから、令和8年度の執行方法や令和9年度予算の見直しは想定していない。												

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

17

当初

事 項	森林・山村多面的機能発揮対策支援事業費										予算主管課	森林整備課		
事 業 概 要	地域住民や森林所有者等が協力して行う「里山保全」「竹林整備」「森林資源の利活用」等の森林・山村が有する多面的機能の発揮に資する活動に要する経費を補助する。										始期	2022		
											終期			
K P I	本補助により整備されている里山面積													
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度			R 6 年 度			R 7 年 度			R 8 年 度		
	R 4 年 度		目標値	31 ha		目標値	31 ha		目標値	31 ha		目標値	31 ha	
	実績値	ha	実績値	27 ha		実績値	18 ha		実績値	21 ha		実績値	ha	
	ストック /フロー	フロー	達成率	87.1 %		達成率	58.1 %		達成率	67.7 %		達成率	%	
	コ ス ト		最終現計 予算額	4300 千円		最終現計 予算額	3000 千円		最終現計 予算額	2736 千円		最終現計 予算額	千円	
決算額			1939 千円		決算額	1658 千円		決算額	961 千円		決算額	千円		
						繰越額	千円		繰越額	千円				
						不用額	1775 千円		不用額	千円				
7 年 度	要因分析	要因 国の内示額が要望額を下回ったことにより事業実施可能な面積が減少し、さらに活動組織の都合によって事業を取りやめた面積が生じたため。												
		総括												
	見直し方向性	維持	7年度のKPI実績は、国の内示額が要望額を下回ったことにより事業実施可能な面積が減少し、さらに活動組織の都合によって事業を取りやめた面積が生じたことから、目標を達することができなかった。8年度以降も現状の事業要望や事業実施主体の森林整備等の習熟度が向上することを踏まえるとKPIは目標達成すると考えられることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。											

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

18

当初

事 項	未来につなげる森づくり促進事業費										予算主管課		森林整備課		
事 業 概 要	循環利用が可能な森づくりに向け、木材供給の拠点である経営林を対象とし、植栽の新たな研究技術の活用や伐採者による機械地拵えの普及など再造林面積の増加につながる取組みに対し支援を行う。										始期		2025		
											終期		2027		
K P I	再造林面積														
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
	R 4 年 度		目標値	ha		目標値	ha		目標値	550 ha		目標値	550 ha		
	実績値	ha		実績値	ha		実績値	ha		実績値	400 ha		実績値	ha	
	ストック /フロー	フロー		達成率	%		達成率	%		達成率	72.7 %		達成率	%	
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	24000 千円		最終現計 予算額	千円	
				決算額	千円		決算額	千円		決算額	14393 千円		決算額	千円	
										繰越額	千円		繰越額	千円	
										不用額	9607 千円		不用額	千円	
7 年 度	要因分析		要因 実施初年度で事業内容の周知不足により、執行率が上がらなかったため、主伐・再造林の拡大には至らなかった。												
			総括												
	見直し方向性		改善		当事業は造林・保育者の省力化を実証するための事業であり、植栽の新たな研究技術の活用や伐採者による機械地拵えの普及など、森林整備に要する労務の削減効果による、新たな労働力創出に向けて取組むよう見直す。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。